



会長あいさつ

上山 泰寛

謹啓 日増しに秋の深まりを感じる季節となり大変過ごしやすいようになってまいりましたが、皆様に於かれましては青年中央会活動、企業活動に益々ご活躍の事とお慶び申し上げます。

又、平素より全青中への深いご理解、ご協力いただいております事に心より感謝申し上げます。

6月に開催されました平成25年度通常総会では全ての議案を原案通り可決承認いただき順調に新年度のスタートがきれしました。現在、全青中役員会に於いては三重県で開催されます全国講習会に向けて三重県青年中央会の計画立案の基、皆様の活動の一助となるべく鋭意検討中であります。当日は代表者会議も開催いたしますので奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

UBA、記念誌に関しては全青中役員にてそれぞれに委員会を設立し本年度内の完成に向けて作業を進めています。皆様よりUBAロゴマークのデザインの公募をお願いしたり、記念誌作成の資料収集など、全国の皆様に協力いただき進めてまいりたいと思いますので今後ともよろしくお願いいたします。

結びになりますが、昨今の異常気象に伴う全国各地の集中豪雨、竜巻等で被災された方々にこの場を借りまして、お見舞い申し上げます。今後、ご支援させていただき状況がありましたらご一報ください。

皆様の益々のご健勝を祈念し挨拶とさせていただきます。

謹 白

会長活動記録

- 5月26日(日) 友好4団体TOP会議 宮城県仙台市 (上山会長・中野副会長)



- 5月29日(水) 中小企業庁 中小企業 東京都 (上山会長)
小規模事業者ビジネス創造等支援事業推進協議

- 6月28日(金) 全青中総会 愛媛県松山市 (上山会長以下全役員)
写真・詳細については別紙掲載

- 7月9日(火) 近畿ブロック理事会 大阪府大阪市 (上山会長・渡邊理事・谷岡監事)



- 8月20日(火) 友好4団体TOP会議 熊本県阿蘇市 (上山会長・寺本副会長)



- 9月5日(木) 九州ブロック青年部長崎大会 長崎県長崎市 (上山会長・田川理事)
写真・詳細については別紙掲載



三重県全国講習会

■日時 平成25年11月8日(金)

伊勢神宮

■場所 四日市都ホテル

三重県四日市市安島1-3-38

講演

テーマ「特色経営のあゆみ ～人のやらないことをやる、
人の真似をしない～」
井村屋株式会社 代表取締役会長 浅田 剛夫 氏

ワールドカフェ方式 ディスカッション

テーマ「青年部に入っていて良かったなと
思うことはなんですか？」



三見浦 夫婦岩



熊野古道

ごあいさつ

本年度の全国講習会が伊勢神宮の式年遷宮が行われる年に三重県で開催されることとなり、初めて当県に来られる方にも三重をしっかりと感じていただけるよう、現在も理事を中心に遅くまで議論しながら開催準備を進めております。ご参加の皆様が、同じ青年中央会のメンバーとの交流をより深めることができると願っております。

集え会心の仲間達よ 全国の青中メンバー様のお越しをお待ちしております。

三重県中小企業青年中央会

会長 伊藤 竜 己

全国中小企業青年中央会 平成25年度通常総会



愛媛

平成25年6月28日(金)
道後プリンスホテル

2012 スローガン
会心の仲間達よ!! ~Feel the new wind



パリエさんとみきさんの
ゆるキャラも大活躍!!



上 上山泰寛全青中会長

右 中村時広愛媛県知事

下 野志克仁松山市長

右下 服部正
愛媛県中央会会長



オープニングを飾った愛媛県当地アイドル
「ひめきゅんフルーツ缶」



本家野球拳も大盛況



お礼のことば

愛媛県中小企業団体中央会 青年部協議会
会長 金井芳臣

このたびの愛媛総会に、全国各地よりご参加いただきまして誠にありがとうございました。全青中初の温泉観光地での開催という物珍しさも手伝って、私たちの予想を大幅に上回る大勢の方にお集まりいただき心より感謝申し上げます。

今回の開催にあたり、四国そして愛媛の良さを発信し、再度この地を訪れていただけるような温かく印象に残るような総会となるよう実行委員一丸となって準備してまいりました。

また、会場となった道後プリンスホテルさん、お土産品でも、世界ブランドとなりつつある今治タオルの田中産業さん、吉本なんば花月の芸人看板を製作された伝統工芸である菊間瓦の小泉製瓦さんなど全てを愛媛の所属メンバーで賄い、愛媛県中央会青年部の活気も同時に発信できるように思慮いたしました。

会場入替に伴い、発生した時間で開催した物産展も、バリイさんやみきゃんのゆるキャラ効果も相まって、思いのほか良く売れましたことにも嬉しく思っております。

そしてメインイベントとなる懇親会も、オープニングのご当地アイドル「ひめキュンフルーツ缶」のミニライブを皮切りに、冒頭の中村愛媛県知事、野志松山市長からは、首長とは思えぬような軽快かつ巧妙な話術で、愛媛・松山の良さを存分にアピールするご祝辞をいただき、服部愛媛県中央会会長の乾杯のご発声で幕明けました。

会場の狭さも幸いしてか、盛り上がるまでにさして時間を要することなく、ブロックや都道府県の垣根も越えて、ご参会の皆様が楽しんでおられたのが印象的でした。長丁場の懇親会でしたが、アトラクションとしての野球拳や、お手伝いいただいたお店のアピールにも趣向を凝らすことにより、2時間30分という時間の長さを感じることなく、盛会のうちに終わられたことに安堵いたしております。

この総会が成功するよう、全青中上山会長をはじめとする役員の皆様、ならびに四国ブロックのメンバーの方々のご助言ご協力に感謝申し上げますとともに、篠浦実行委員長をはじめとする実行委員の方々、物産展にご協力いただいた各青年部の皆様、そして、開催地の道後温泉旅館協同組合青年部の方々にもご尽力いただきましたことに心よりお礼申し上げます。

最後にはなりましたが、この盛り上がり为爱媛で終わることなく、11月の三重県全国講習会、さらには来年6月の宮崎県全国総会へと続きますこと、ならびに、全国青年中央会がますますのご発展を遂げられますよう祈念申し上げ、お礼かたがたご挨拶とさせていただきます。

ブロック・都道府県青年中央会

取組 状況

■ 四国ブロック

全国初!! 四国四県の商工3団体 トップが集う「四国連携 トップ会議」開催へ

去る平成25年7月24日、四国ブロック中小企業青年中央会 中野寿之会長(写真1中央)を発起人とする「商工3団体次世代プロジェクト 四国連携トップ会議」の準備会が四国ブロック商工会議所青年部連合会 藤井祐一郎会長、四国ブロック商工会青年部連合会 田中達也会長をはじめ各県の代表等総勢18名参加のもと、愛媛県四国中央市にて開催された。

この会議の中で、今後の連携を視野に、発起会として「四国商工3団体 四国連携トップ会議」を平成26年2月14日(金)に徳島県で開催されることが決定した。

ことの発端は、徳島県では以前から商工会議所青年部連合会、商工会青年部連合会、青年中央会で構成される商工3団体で活動・交友関係を築いており、数年前からは防災・減災への取組みについて共同で行ってきたものを、県という垣根を越えた活動に広げていきたいとの思いから呼びかけが実現した。

この度、この会議において徳島県中小企業

青年中央会 田村茂人会長(写真1左側)から徳島県商工3団体のこれまでの取組みについて説明が行われ、以前から商工3団体で活動を行っていた高知県・愛媛県、そして今まで商工3団体としての活動実績のなかった香川県が新たに商工3団体の枠組みを組成し、四国商工3団体の趣旨に賛同することが決定し、全国で初の試みとなる「四国商工3団体 四国連携トップ会議」を開催する運びとなった。

四国四県のスケールメリットを生かし、共に県という枠組みを超えた連携に取り組んで行きたいという思い、また結束を深めることを目的に四国ブロック長及び各県団体の長が平成26年2月に徳島県の地へと集結することとなる。

今後、四国全体で事業の連携をはかることはもとより、地方の意見を集約し、全国に発信していける団体となれるよう準備を進めている。



写真1



写真2

九州ブロック

九州大会（青年部の集い） 開催される！

9月5日(木)に開催された第56回中小企業団体九州大会に合わせて、青年部の集いとして青年部代表者会議並びに青年部交流会が開催されました。



青年部代表者会議

青年部代表者会議は、九州大会の会場である長崎ブリックホールにおいて11時から開催し、九州各県の青年中央会（協議会）の会長・副会長が集まり、青年部活動の内容を紹介すると共に今後の青年部のあり方についてそれぞれ特色のある取り組みが報告されました。また、九青中の自主財源獲得の一環として九青中ピンバッジの作成報告も行われ、九州はひとつ！“KUSUO”の愛称と共に連帯意識の表現として着用することを確認いたしました。



大会宣言を述べる九青中 田川会長

その後、記念講演並びに本大会へ出席し、本大会では九州ブロック中小企業青年中央会の田川清浩会長が大会宣言を述べ、

表彰式では優良組合青年部の表彰も行われました。受彰された青年部の皆様、誠にありがとうございます。

大会終了後、18時から会場をグラバー園に移し、青年部交流会を開催しました。週の初めには台風の影響もあり、野外となるグラバー園での開催が危ぶまれておりましたが、当日は天候の不安を一掃する晴天に恵まれ、九州各県からの参加者を無事にお迎えすることができました。

グラバー園の坂を上ってくる参加者をウェルカムドリンクとジャズの生演奏で歓迎し、夕焼けのグラバー園もご堪能いただきことができました。

開会にあたり来賓を代表して長崎県産業労働部江村次長より祝辞をいただき、全国中小企業青年中央会 上山会長による乾杯のご発声で交流会が始まりました。

長崎らしい異国情緒を漂わせたアトラクションも多彩に繰り広げられました。まずは縁起物の中国獅子舞でご参加の皆様の無病息災を祈念し、コミカルな獅子の動きと銅鑼の音がグラバー園の雰囲気と溶け込んでいました。次に中国変面の演舞が行われ、会場を大いに賑わしました。変面とは中国の京劇に似たもので、能面を瞬時に変化させる演劇です。カラフルな衣装をまとった演者の姜鵬（きょうほう）さんの顔が変わるたびに会場から驚きの声が上がっていました。更に会場を盛り上げたのが“オリエンタルパフェーム”の皆様によるベリーダンスで会場が一気に妖艶な雰囲気に包まれておりました。

そのような会場の中でも次世代を担う青年経営者等の参加者は、お互いに様々な情報交換等が行われた他、相互に交流を深めておられました。各県会長による青年部活動PRの後、熊本県中小企業団体中央会青年部協議会 星山会長より次期開催県としての抱負等が述べられ、グラバー園からの夜景を眺めながら盛会裏に終了いたしました。

また、翌日はパサージュ琴海において28名参加の下“ゴルフ大会”も開催され、更に交流を深めることができました。

ご参加いただきましたご来賓をはじめ、青年部メンバーの皆様はこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



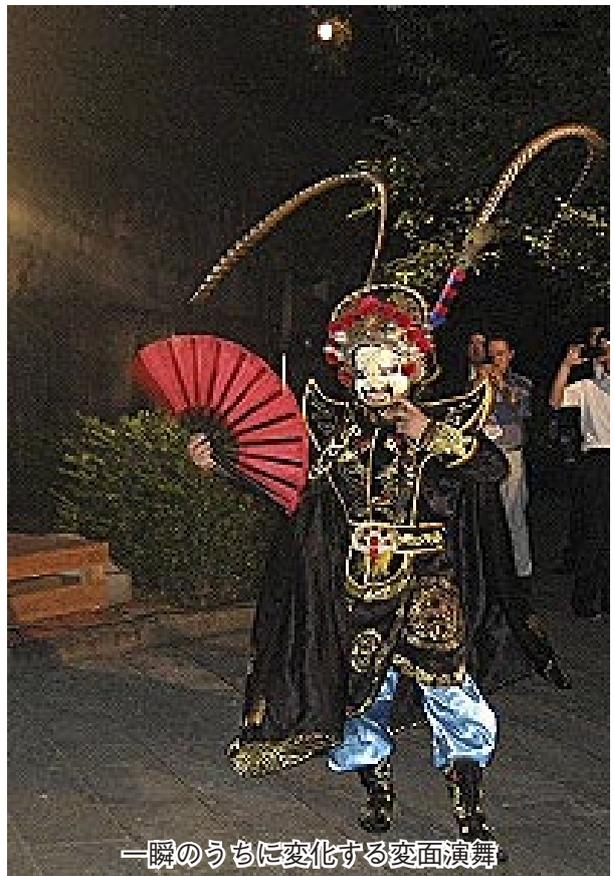
歓迎を述べる青年部田川会長



全青中上山会長による乾杯



祝辞を述べる産業労働部江村次長



一瞬のうちに変化する変面演舞



会場を練り歩く中国獅子舞



妖艶なるベリーダンス



次期開催県の熊本県 星山会長による挨拶

■ 京都府

京都青年中央会 小倉山クリーン大作戦

平成25年4月28日、京都府中小企業団体中央会 渡邊隆夫会長の呼びかけで、京都市右京区の小倉山の視察に参加しました。

この小倉山は、京都駅から北西に位置し、麓に嵯峨・嵐山と呼ばれる観光名所を携える風光明媚な場所です。観光客は車やバスで嵐山高雄パークウェイから小倉山の頂上を目指すことが多く、徒歩での登山はもっぱら地元の人々が中心となります。また、小倉百人一首は、この小倉山に造営された山荘で、藤原定家が選定したとされることでも有名です。

さて、嵯峨嵐山の駅から程近い渡邊会長のご自宅に集合し、そこから険しい山道をズンズンと登っていくと、山頂からようやく開けた人工的な道に行き着きました。この道は以前に開発のために付けられた運搬用道路で、この道を降りていくと、パークウェイの途中に辿り着きます。さらに一つカーブを登れば、保津川下りを眼下に見下ろせる素晴らしい眺望の展望台があります。

山頂から1キロほどのこの道は、両側に並木を備え、この日も数十人の山歩きの人たちと出逢った素敵な散策路なのですが、景観を保っているのは、地域のボランティアの方の力に頼っているという現状を知らされました。一緒に同行して頂いた、大辻啓夫さんはその中心的な方で、枯葉や倒木、雨で流された土砂などを毎日、一人で黙々と少しずつ撤去されているとのことでした。

大辻さんは4年前に、宇治から嵯峨に移り住み、この散策路が荒廃していることに心を痛め、直ぐに一人で早朝の清掃活動を始められました。私たちがフラフラになって登ってきた道のりを、毎日歩いて上ってきては数時間の掃除をする、御年75才の大辻さんの活動に胸を打たれました。枯葉くらいならまだしも、側溝は雨に流された土砂で埋まっており中から樹木が生えるほどの状態で、普段現場でスコップを握っている私にはそれがどれほどの重労働なのか、

想像するのは容易でした。

「私たち青年会の力で少しでもお手伝いしたい!この埋まってしまっている側溝と一緒にきれいにしたい!」と思い、早速に大辻さんと渡邊会長に相談し、とにかくやってみようという事になりました。

早速に当会の窓口としてお世話になっている京都府の加地将徳副課長とともに、まず土地の所有者の調査から始めました。各管轄窓口で今回の事業趣旨や内容をご説明しご協力をお願いした上で、保管されている資料を基に調べて頂きました。土地の所有については、道を挟んで個人と京都市の2者であることが解り、今度は京都市へお願いにあがりました。京都市では武田淳課長がご尽力下さり、各課への交渉はスムーズに進めることが出来ました。こうして面談や折衝を重ね、何とか駆け足で予定していた7月10日に清掃ボランティア活動として開催に漕ぎ着けました。

さて、7月10日早朝、パークウェイの開門と同時に、続々と車が上っていきます。京都府・京都市の職員の皆さん、中央会事務局の皆さん、京都府石材業協同組合石青会メンバー、そして最強の助っ人!全京都建設協同組合青年部JICのメンバーのバックホーを積んだダンプカーが集合場所の駐車場に入ってきました。渡邊会長と大辻さん、さらにはトロッコ列車を運行されている嵯峨野観光鉄道株式会社の森泰蔵社長も作業着でお越しになりました。

8時半、すでに気温はかなり高く汗ばんでいる中、朝礼をして作業開始。

スコップを片手各所に分かれて側溝の枯葉や土を掻き出し、軽トラックや一輪運搬車に載せて、通路の外などに処分していきます。バックホーは見る見るうちに深い土に隠れていた側溝を元の姿に戻していきます。気温はグングンあがり、休憩を随時とりながらの作業。そのうちに、門川大作京都市長も到着され、御礼と激励の言葉を掛けながら上って来られました。

昼食は、門川市長、渡邊会長もご一緒に地面に腰を下ろしてお弁当を食べました。暑さと満腹感の影響で昼からは少しペースダウンしましたが、15時半まで作業は続けられ、全体の8割近くの清掃が完了することができました。

終礼の時には、日焼けで真っ赤な30人の顔は疲れ果てていましたが、それでも充実感いっぱいの笑顔に溢れていたのが印象的でした。

今回の清掃活動は、我々青年会と親会（京都府中小企業団体中央会）、行政（京都府・京都市）、そして地元のボランティアの方との大きな和が達成した事業で、まさに相互扶助の組合精神を形にした事業だったと思います。善意というものは、一方的に押し付けるものではありませんが、伝えること、お願いすることで心と心は繋がり、目的意識を共有し行動することで成果が目に見えるものとなるということをあら

ためて感じました。これは中央会という組織の新たな大きな一歩だと確信しています。

今回は、初めての試みで折衝や組み立てに時間が掛かったことと、重機やトラックなどを使用した危険を伴う大掛かりな作業でしたので、お声掛けをさせて頂いた会員青年部も全てではありませんでしたが、次回はもっと多くの皆さんとともに人の力で展開したいと思っております。

ご協力下さいました全ての皆さまに心より厚く深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

京都青年中央会 会長 長野 兼人



■ 富山県

富山県友好青年団体の 調印を締結

富山県中小企業青年中央会（会長：西森祐一）は、平成25年6月5日(水)に富山第一ホテルにおいて、富山県商工会青年部連合会（会長：脇本恭成）、公益社団法人日本青年会議所富山ブロック協議会（会長：石崎大善）、富山県商工会議所青年部連合会（会長：三箇伸欣）の経済青年団体と、積極的な意見・情報交換を通じて連携を深め地域社会の活性化を図ることを目的に「富山県友好青年団体」の締結書に調印しました。

今後は様々な事業が効果的に行われるよう団体間のネットワークを構築していきます。

●基本理念

富山県に組織を有する青年団体間の連携を図り、意見交換や情報交換を通してネットワークを構築し、相互理解を深め更なる友情を確認し、各々の団体や個人が地域社会への貢献を通して、輝く富山県・日本の為に活動する事を目的とする。

●基本方針

- ・参加団体のネットワークの構築
- ・意見交換・情報交換の機会
- ・緊急時のネットワークの構築



■ 広島県

青年中央会 組合青年部PR事業の 一環として「広島キッズ シティ2013」に参画

広島県中小企業団体青年中央会は、去る8月3日(土)、4日(日)、組合青年部PR事業の一環として広島市中小企業会館において開催された「広島キッズシティ2013」に初めて参画した。

今回で3回目の実施となったこのイベントは、広島キッズシティ2013実行委委員会（一般社団法人広島青年会議所、広島県、広島市による共催）が主催しており、青年中央会は後援団体としての参画となった。当日は総出店数72ブースのうち、青年中央会の会員組合青年部等からは5ブースの出店があり、子ども達に対する職業体験を通じて組合や業界のPRを行った。また、青年中央会役員及び事務局職員が運営支援として、事前登録された“キッズアルバイト”に対して出展ブースでのアルバイトの紹介を行う「ハローワーク」での受付業務を担当した。

物販のブースでは、出店者それぞれが事前レクチャーした“子ども店長”が中心となり、1時間ごとに数名の“キッズアルバイト”を受け入れ、販売等の職業体験を実施。広島県針工業協同組合（針のお店「おはりや」）ではフェルティングアクセサリー作り体験や手芸用品の販売体験、協同組合ベイタウン尾道青年部会（こぞなかくん）ではちりめんのパック詰め、販売体験などを行った。

また、「お仕事学校」のブースでは子どもたちが様々な業種の職業を体験。広島市指定上下水道工事業協同組合青年部会（すいどうやさん）では管工事、配管の体験、

広島県電気工事工業組合青年部（キッズシティ電気）では電気工事体験と資格証の発行、広島県二輪自動車協同組合（キッズバイク2りんくみあい店）ではミニバイクの乗り方教室、試乗体験などを行った。

その他、中央会の会員組合からも出店があり、広島広告美術協同組合青年部会（かんばん屋さん）では高所作業車による看板取り付け作業体験、広島県室内装飾事業協同組合青年部（かべがみやさん）では壁紙を使用したフォトフレームの製作体験などを行った。

会場ではそれぞれの出店者が工夫を凝らしながら子供たちへの職業体験をサポート

しつつ、業界や組合のPRを行っていた。2日間で事前登録した約1,000人の子供たちがアルバイト体験を行い、また、当日来場した子供たちやその保護者等を含め3,000人を超える来場者が訪れ、どのブースも大変好評であった。

青年中央会としては、一般社団法人広島青年会議所等との連携を図りながら今後も積極的に当イベントへ参画し、次年度は更に多くのブース出店を目指すこととしている。



「ハローワーク」での受付業務



広島県針工業協同組合（針のお店「おはりや」）



協同組合ベイタウン尾道青年部会（こざなかくん）



広島県二輪自動車協同組合（キッズバイク2りんくみあい店）

香川県

「第1回さぬき産shoku フェスタ~中央会青年部 まつり2013~」 開催します!



日時：11月2日(土・祝)11時~16時

※オープニング 10時半

場所：サンポート高松・多目的広場
(JR高松駅東すぐ)

各ブースにて庵治石プレートづくりや電気実験、コケ玉づくりなどの体験型ワークショップを実施します。また、香川漆器などの地場産品の展示即売やさぬきうどん、オリーブ牛、天ぷらなど“うまいもん”の販売も。ステージでは「石匠庵神レムジア・ヒーローショー」を開催。その他、お魚つかみどり体験も予定しています。

瀬戸内国際芸術祭の会期中(最終週!)でもあります。ぜひ香川にお越し下さい。

【問い合わせ】

香川県中央会青年部(中井)

TEL 087-851-8311

編集後記

皆様こんにちは。全青中だより9号の編集委員の山口です。

今号はスタートから発行までの期間が短く皆様にご迷惑をかけたことが、寄稿して頂いたブロック、各都道府県中央会、全青中会長・副会長・理事の素早い対応により何とか形にすることができました。有り難うございます。

中でも私が社業多忙の上、千葉県警との合同防災訓練を9月中3回もやることになってしまった時に、編集を引き受けてくださった愛媛県の金井理事には頭が上がりません。

今後は年間の発行スケジュールを決めて、原稿のフォーマットを作成していかなければと痛感しました。

次回以降もより良い全青中だよりを発行していきますのでよろしくお願い致します。

全国中小企業青年中央会 理事 山口 真延